

10年のあゆみ



1995年度(平成7年度)

4.29 琉球政府文書を沖縄県立図書館より搬入

5.15 沖縄県立図書館史料編集室所蔵の沖縄県文書500箱を移管/沖縄県総務部文書学事課の沖縄県文書12,000箱を移管/史料編集室の琉球政府文書約15万簿冊を移管

6.16 沖縄県公文書館落成式

8.1 沖縄県公文書館開館/沖縄県公文書館管理規則を公布、施行

'96.1.9 第1回公文書運営懇話会を開催

1.25 第1回公文書館講座を開催

3.12 第1回市町村文書担当者研修会を開催



津嘉山朝之



特別講演 徐藝圃氏



特別講演 鹿野政直氏



開館記念特別展の様子



開館記念式典 テープカット

歴史講座 — 沖縄の戦後史を語る —



山根安昇氏



宮城悦二郎



エントランスホールに展示された戦後史関連資料



福地曠昭氏



保坂廣志氏



上江洲トシ氏

1996年度(平成8年度)

4月 公文書館業務一部沖縄
県文化振興会公文書管
理部へ委託

土日開館、月曜日閉館と
なる。

8月 開館一周年記念式典開催、
資料寄贈者に感謝状贈
呈

特別展「琉球政府の時代」

9月 (財)沖縄国際海洋博覧
会協会資料を受贈

12月 市町村文書実務担当者
研修会を開催

USCAR(琉球列島民政府)
の資料等、米国の沖縄占
領関係資料及び収集始
まる。

'96.1月 岸朝子氏より岸秋正蔵
書11,000点を受贈



開館一周年記念式典の様了



特別展「琉球政府の時代」

永年保存文書や長期
保存文書が廃止され、
文書保存規程が改正
されました。



沖縄海洋博関係資料の搬入



沖縄県文書の搬入

歴史講座 — 沖縄の歴史『先史から近代へ』—



上里賢一氏



田名真之氏



比屋根照夫氏



豊見山和行氏



仲地哲夫氏



会場の様子

1997年度(平成9年度)

- 5月 沖縄県祖国復帰協議会資料の受贈
- 8月 特別展「沖縄へのまなざし～岸秋正文庫の世界」
- 11月 当館講堂で、国文学研究資料館史料館の短期研修開催
- 98.1月 当館講堂で、沖縄県地域史協議会研修を開催
- 3月 『沖縄県公文書館研究紀要創刊号発刊』



特別展「岸秋正文庫の世界」左から2番目岸朝子氏



図録『岸秋正文庫の世界』



会場の様子

— 屋良朝苗氏回顧パネル展 —



県庁ホール



特別講演 末次一郎氏

歴史講座 一戦後沖縄文化の諸相一



備瀬善勝氏



照屋寛公氏



真喜志康忠氏



仲井真文子氏（右端）

沖縄への眼差し「岸秋正文庫」

岸秋正氏（1917年～1995年）は、大東糖業（のちの大進貿易株式会社）代表取締役東京連絡事務所長を務めるかわら沖縄関係の文献を精力的に収集した人物です。1万冊以上におよぶ蔵書は、1996年（平成8）、朝子夫人から当館に寄贈されました。現在「岸秋正文庫」として閲覧に供されており、当館で最も利用されている資料群の一つです。岸氏が約40数年に亘って収集したこれらの資料は、古典籍や漢籍、自然科学や社会科学、歴史関係と広範囲にわたっております。特に、雑誌類は神田の古書市を歩き根気よく収集したもので、

一冊ずつ丁寧に表紙がつけられています。このように苦労して集められた資料を岸氏は、沖縄の研究者や関係機関に惜しげもなく提供したそうです。沖縄戦で灰燼に帰した沖縄の文献資料にこのほか関心をもち、沖縄関係資料を収集することが生き甲斐であり、使命感のようなものを持っていらしたようです。岸氏の沖縄への温かい眼差しをいつまでも忘れず、閲覧カウンターで資料をお渡しする時には、沖縄を愛してやまなかった思いもいっしょに利用者に伝えていきたいと思ひます。

1998年度(平成10年度)

6月 沖縄県公文書館ホームページ開設

8月 企画展「アメリカが記録した戦後沖縄」

10月 移動展石垣市図書館開催

11月 第24回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)全国大会開催

'96.1月

2月 ハワイ移民一世故比嘉太郎資料、当館に寄贈



第24回全国歴史資料保存利用機関連絡協議(全史料協)全国大会



懇親会の様子



沖縄県公文書館ホームページねっとOPA開設



第二回資料保存講演会「国内における資料保存の現状と課題を考える」

資料保存講演会

(右から青木睦氏、上江洲敏夫氏、A.P.ジェンキンス氏)



閲覧室の様子



整理作業の様子



補修作業の様子

もうひとつの窓口「ねっとOPA」

沖縄県公文書館ホームページ「ねっとOPA」は、開館から約3年を経過した平成10年7月に運用を開始しました。「ねっとOPA」は、新着資料や行事案内等、ホットな情報をいち早く発信することができる広報媒体としての役割の他、インターネットならではの時間的、地理的制約のないサービスを県民に提供することができます。

「ねっとOPA」の一番の魅力は、国内公文書館初の資料目録検索サービスです。当館所蔵資料

の中から、利用者が求める資料を来館しなくても事前に調査することができるようになりました。他にも、琉球政府の公報や戦後沖縄の写真も閲覧できるようになりました。さらに今後の「ねっとOPA」は、県職員がパソコンで作成し、保存期間が満了した公文書を電子申請・公開できる電子公文書館（デジタルアーカイブズ）の窓口としての発展を目指しています。

1999年度(平成11年度)

’99.3月 移動展「記録された名護・
～4月 やんばる」名護市立中央
図書館で開催。

8月 海外移民100周年を記念
して企画展「海外移民の
軌跡」を開催

11月 移動展「公文書館資料に
見る海外移民の軌跡と
宮古関係資料」を平良市
総合博物館で開催

’00.2月 第4回 市町村文書担当
者研修



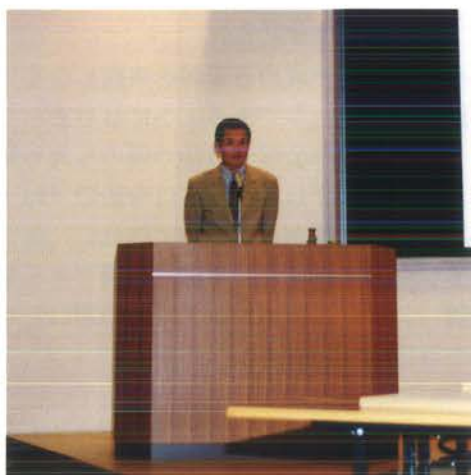
企画展の様子



赤嶺秀光氏



石川友紀氏



前原信一氏



「夏姓家譜」を寄贈する平敷令治氏(右)

歴史講座 一島々の文化を訪ねて一



波照間永吉氏



仲宗根将二氏



上江洲均氏



会場の様子

～「幻の印影」～

領収書の発行に辞令書、様々な公的な申請書類に「印鑑」は欠かせません。押印された資料は文書が原本であることを証明するものであり、ましてや公文書の「公印」は個人や団体の責任と権利を証明する大切なものです。

当館は開館以来、琉球政府時代の看板や公印も収集しています。「宮古群島政府印」は、これまで印鑑どころかその印影すら存在が明らかにされていませんでした。平成11年10月、宮古移動展開催の折、宮古支庁長を訪ね、その印影に関する情報の提供をマスコミ等に報道したことがキッカ

ケで宮古や那覇在住の方などから情報がよせられました。長年、宮古の歴史研究者や関係機関を通じて捜していたが見つからず、なかば幻と化していたものですが、資料は意外にも身近なところがありました。資料を「発見」するのは人間ですが、「発見」されるまで資料はそこに「存在」しているのですから、資料にしてみれば、「何故、今まで私を捜してくれなかったのですか？」と嘆いていたのかもしれない。



宮古群島政府印

2000年度(平成12年度)

8月 開館5周年記念特別展「琉球国王表文・奏本展」

「沖縄県公文書館友の会」
発足

'01.2月 第5回市町村文書担当者
研修会

企画展「沖縄県公文書館
収蔵資料にみる久米島」
開催



開館五周年記念特別展テープカット



展示された進貢船の模型



特別講演 馮伯群氏



特別講演 小玉正任氏



公文書館友の会 発足



資料保存講演会 安江明夫氏



韓国図書館協会代表团、朝鮮民主主義人民共和国
図書館代表团来館



企画展看板 正面玄関



展示室

2001年度(平成13年度)

7月 第1回普及展を県庁県民ホールで開催

10月 企画展「写真に見る近代の沖縄」

11月 第6回市町村文書担当者研修会

第2回普及展を宮古支庁八重干瀬ホールで開催

第3回普及展を八重山支庁石礁ホールで開催

12月 第5回移動展伊平屋村歴史民俗資料館

02.2月 第6回移動展「写真に見る近代の沖縄」を法政大学(東京都)で開催

※沖縄県緊急雇用対策事業として公文書等デジタル化事業を実施



県民ホール



ハワイ大学図書館日本文献専門司書のトキコ・パゼル氏(右から2番目)

歴史講座 —歴史から見た東アジアと沖縄—



名嘉正八郎氏



山口栄鉄氏



高良倉吉氏



井上秀雄氏



津波高志氏



野々村孝男氏



東京移動展（法政大学）



外務省長期青年招聘事業により当館で研修中のモンゴル国立公文書館上級専門家のチュロン・オюнチメグさん

米国における沖縄関係資料調査収集事業について

当館は、1997年(平成9)よりメリーランド州カレッジ・パークにある米国国立公文書館で沖縄関係資料の調査と収集に取り組んできました。この仕事には、英語と日本語が読め、沖縄についても精通していることが必要です。しかし、外国でそのような人材を確保するのは容易なことではなく、地元県系人、県費留学生など多くの方々の協力を得ながら事業を進めてきました。

こんなエピソードがあります。スタッフの一人が、おそらく数万件はあろう太平洋地域の暗号解読文のファイルから「アンリ」、「キンブ」、「キューバ」などのタイトルを拾い上げてきてくれました。変に思って中身をよく見ると、沖縄の安里(あさと)、金武(きん)、久場(くば)に関するファイルでした。米国事業はそんな有能なスタッフに支えられて成り立ってきました。



米国国立公文書館



米国国立公文書館での作業風景

2002年度(平成14年度)

5月 日本復帰30周年記念特別展「資料に見る沖縄の歴史」当館展示室で開催

6月 同特別展「資料にみる沖縄の歴史」を平良市総合博物館で開催

7月 同特別展「資料に見る沖縄の歴史」を石垣市立図書館で開催

第4回普及展を北部合同庁舎で開催

9月 企画展「1940年代の沖縄の空中写真」

12月 第5回普及展県庁講堂で開催



THE 30th ANNIVERSARY OF THE REVERSION

日本復帰30周年記念特別展



展示室の様子



開会式のテープカット



資料保存講演会
荒井宏子氏



公文書講演会 大濱徹也氏

歴史講座 — 英文資料を読む —



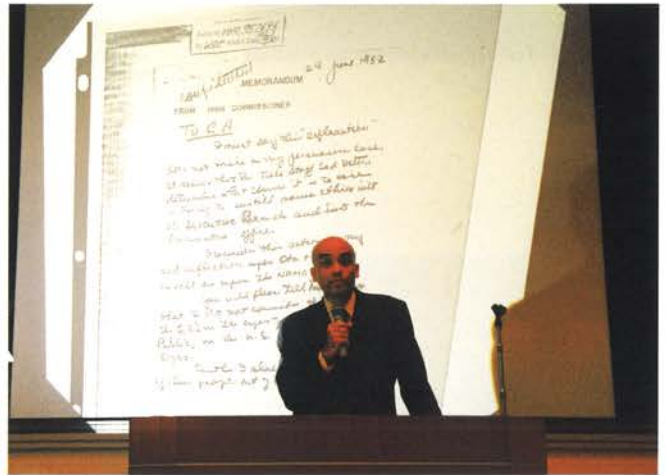
ロバート・エルドリッジ氏



宮里政玄氏



我部政明氏



仲本和彦

日本復帰30周年記念特別展

平成14年5月1日から一ヶ月間にわたり、日本復帰30周年を記念して特別展「資料に見る沖縄の歴史」を開催し、県内外4千名余が観覧しました。6月には平良市総合博物館、7月に石垣市立図書館でそれぞれ同展の移動展を開催し好評を得ました。展示内容は、①琉球王国時代、②廃藩置県から沖縄戦まで、③米国の沖縄統治時代から日本復帰までの三つの時代区分で構成し、歴史の転換期となった象徴的な資料を中心に111点を展示しました。

本展示では、中国第一歴史檔案館、東京大学史料編纂所、島津久厚氏など多くの関係者の協力を

得て、沖縄の歴史に縁のある資料を借用・展示することが出来ました。開催前後の数ヶ月は、職員総動員で準備に当たり、資料選定、解説原稿執筆、関係機関との調整、式典準備など、開館以来の忙しさでしたが、稲嶺知事をはじめ多くの方々が来館され、県の重点事業にふさわしいものとなりました。

復帰特別企画展により、沖縄の歴史研究に欠かせない貴重な資料を一堂に展示したことは、歴史を証明する資料の重要性とそれを保存管理する必要性を認識させる契機となり、公文書館の役割の大きさを知らせる機会となりました。

2003年度(平成15年度)

6月 フライマス・コレクション贈呈式

8月 企画展「沖縄の乗りもの今昔」開催

島津家文書琉球関係史料複製で収集

10月 琉球政府文書の素材調査委託

11月 琉球政府文書保存状態調査事業開始(2004年度まで)

琉球政府関係写真資料公開



企画展「沖縄の乗りもの今昔」



展示室の様子



照屋善彦氏



ゆたかはじめ氏



上海市档案馆館長一行来館

歴史講座 一戦前の県令・県知事一



会場の様子



野里洋氏



多良間移動展 会場の様子



フライマス一家と稲嶺恵一沖縄県知事

もうひとつの眼差し 「フライマス・コレクション」

東京から沖縄を見守り、沖縄関係資料を収集した岸秋正氏に対して、遙か太平洋の彼方、米国からも温かい眼差しをもって、沖縄関係の文献資料を収集された方がエドワード・O・フライマス氏(1919年～2001年)です。フライマス氏は、1946年6月、陸軍将校として来沖以来、陸軍、軍政府、民政府に務めUSCARの渉外局長等、米軍統治下の沖縄で要職を歴任しました。1966年7月にワシントンに転属してからも沖縄問題の実務担当者として、生涯沖縄問題に深く関わってこられました。

2003年(平成15)、氏が長年にわたって収集した沖縄関係資料がご遺族より当館に寄贈されました。氏の米国の沖縄統治に関する資料は、18世紀～19世紀に刊行された琉球に関する欧文文献、沖

縄関係図書、雑誌、パンフレット、新聞切抜、論文、地図等から成っています。特に、米国で発刊される米国連邦議会の刊行物等は、要職にあったフライマス氏ならではの資料であり、それらの資料を丹念に整理、分類し、いつでも訪ねてくる沖縄研究者に提供していただきました。ご子息によると死の直前まで沖縄に関する新聞の切り抜き作業をしていたそうです。フライマス・コレクションには、氏のこのような温かい眼差しを感じることができます。沖縄の戦後史は米国統治資料を抜きにしては語れません。フライマス氏の深い思いの詰まったこれら資料を是非、多くの方々に活用して欲しいと思います。

2004年度(平成16年度)

9月 企画展「米国高官たちの
沖縄へのまなざし」開催

12月 移動展「アーカイブズへの
誘いー記録で辿る那
覇の今昔パレットくも
じリウボウホールで開
催

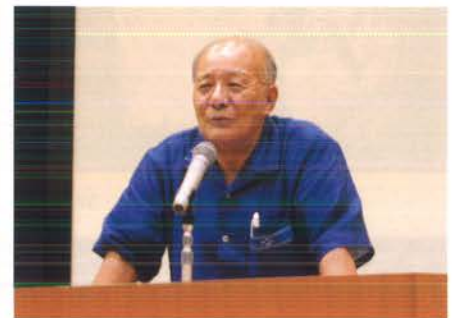
05.3月 国立台湾大学図書館等
沖縄関係資料調査



エントランスホール



沖縄戦関連映写会



比嘉幹郎氏



閲覧棟入口に設置された看板



展示室の様子



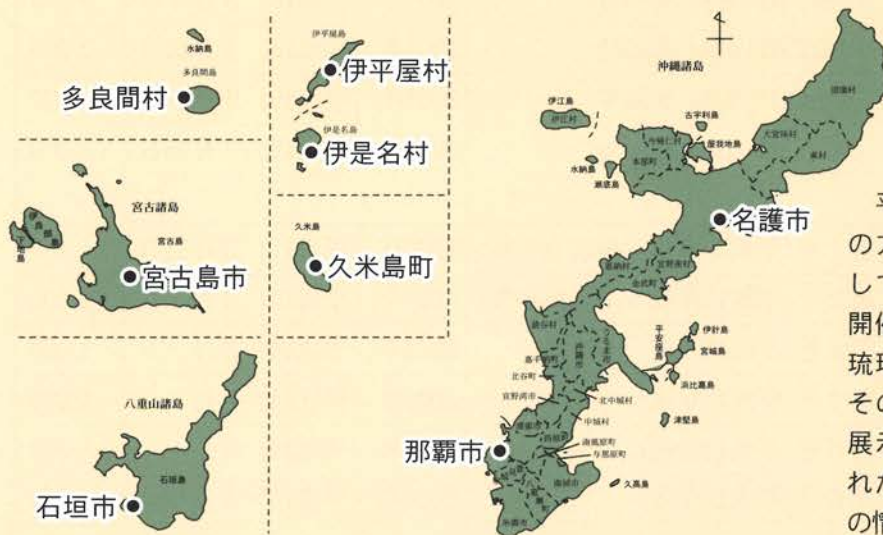
移動展 パレットくもじリウボウホール



沖縄戦の映像を観る観客



これまでの移動展開催地



●東京都(法政大学)

平成10年より、当館では遠隔地の方々にも公文書館活動を理解して頂くため、各地で移動展を開催してきました。展示は、主に琉球政府文書やUSCAR文書からその地域に関する資料や写真を展示しました。身近な資料に触れた住民から資料に関する多くの情報を提供していただきました。

普及事業（刊行物）

	書名	発行年月日	部数
1	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」創刊号	1996年（平成8）1月31日	3,000
2	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第2号	1996年（平成8）6月1日	3,000
3	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第3号	1996年（平成8）7月1日	3,000
4	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第4号	1997年（平成9）2月20日	3,000
5	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第5号	1997年（平成9）6月30日	3,000
6	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第6号	1997年（平成9）10月20日	3,000
7	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第7号	1998年（平成10）3月1日	3,000
8	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第8号	1998年（平成10）8月8日	3,000
9	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第9号	1999年（平成11）3月23日	3,000
10	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第10号	2000年（平成12）1月25日	3,000
11	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第11号	2000年（平成12）3月21日	3,000
12	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第12号	2000年（平成12）7月13日	2,000
13	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第13号	2001年（平成13）1月10日	2,000
14	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第14号	2001年（平成13）3月26日	2,000
15	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第15号	2001年（平成13）7月23日	3,000
16	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第16号	2001年（平成13）10月31日	3,000
17	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第17号	2002年（平成14）2月11日	3,000
18	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第18号	2002年（平成14）3月28日	3,000
19	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第19号	2002年（平成14）8月15日	3,000
20	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第20号	2002年（平成14）11月21日	3,000
21	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」特別号	2003年（平成15）2月10日	3,000
22	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第21号	2003年（平成15）3月27日	3,000
23	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第22号	2003年（平成15）6月25日	3,000
24	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第23号	2003年（平成15）11月25日	3,000
25	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第24号	2004年（平成16）3月3日	3,000
26	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第25号	2004年（平成16）7月20日	3,000
27	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第26号	2004年（平成16）10月29日	3,000
28	沖縄県公文書館だより「ARCHIVES」第27号	2005年（平成17）2月25日	3,000
年報			
	沖縄県公文書館年報 第1号(平成7年度～平成9年度)	1999年（平成11）3月31日	1,000
	沖縄県公文書館年報 第2号(平成10年度～平成11年度)	2001年（平成13）3月1日	2,000
	沖縄県公文書館年報 第3号(平成12年度)	2002年（平成14）3月	1,000
	沖縄県公文書館年報 第4号(平成13年度)	2002年（平成14）8月	1,300
	沖縄県公文書館年報 第5号(平成14年度)	2003年（平成15）6月	1,300
	沖縄県公文書館年報 第6号(平成15年度)	2004年（平成16）6月	1,300

普及事業（刊行物）

紀要			
沖縄県公文書館研究紀要 創刊号	1998年（平成10）3月31日	1,000	
沖縄県公文書館研究紀要 第2号	2000年（平成12）3月31日	1,000	
沖縄県公文書館研究紀要 第3号	2001年（平成13）3月30日	1,000	
沖縄県公文書館研究紀要 第4号	2002年（平成14）3月30日	1,000	
沖縄県公文書館研究紀要 第5号	2003年（平成15）3月31日	700	
沖縄県公文書館研究紀要 第6号	2004年（平成16）3月31日	700	
沖縄県公文書館研究紀要 第7号	2005年（平成17）3月31日	700	
目録			
琉球政府行政機構変遷図 1952.4.1～1972.5.14	1998年（平成10）2月	1,000	
琉球水道公社文書目録	1998年（平成10）3月	500	
米国民政府ニュース・リリース及び関連資料目録	1998年（平成10）3月	500	
GHQ/SCAP文書目録 沖縄関係資料	1998年（平成10）3月	500	
米国の沖縄統治下における琉球政府以前の行政組織変遷関係資料（1945～1952）	2000年（平成12）3月31日	1,000	
岸秋正文庫目録	2001年（平成13）3月28日	1,000	
清代琉球関係 档案史料和訳目録	2002年（平成14）3月28日	1,000	
清代琉球関係档案史料和訳目録（続編）	2003年（平成15）3月31日	500	
図録			
沖縄県公文書館開館記念特別展 清代中国・琉球関係檔案史料展	1995年（平成7）8月	2,000	
開館一周年記念特別展 琉球政府の時代 図録	1996年（平成8）8月1日	3,000	
特別展 沖縄へのまなざし 岸秋正文庫の世界	1997年（平成9）8月1日	2,000	
沖縄県公文書館開館五周年記念特別展 琉球王国表文奏本展 展示図録	2000年（平成12）8月1日	3,000	
公文書館資料にみる海外移民の軌跡	1999年（平成11）8月3日	2,000	
沖縄県公文書館開館五周年記念特別展 琉球王国表文奏本展 展示図録（別冊）	2000年（平成12）8月1日	3,000	
世界のウチナーンチュ大会記念企画展 写真に見る近代の沖縄	2001年（平成13）10月19日	2,300	
日本復帰30周年記念特別展 資料に見る沖縄の歴史	2002年（平成14）3月25日	2,500	
沖縄の乗りもの今昔	2003年（平成15）8月8日	1,000	
米国高官たちの沖縄へのまなざし 沖縄の戦後復興（企画展図録）	2004年（平成16）9月7日	1,500	
アーカイブスへの誘い 記録で辿る那覇の今昔	2004年（平成16）12月1日	1,500	
その他			
五年のあゆみ	2000年8月1日	1,000	
資料保存のしおり	2000年8月1日	1,000	
沖縄県公文書館 概要	2002年（平成14）6月	1,000	
公文書管理・利用ガイドブック	2003年（平成15）2月	8,500	
米国政府依頼による沖縄地区土地評価報告書（翻刻版）	2004年（平成16）3月	200	

アーカイブズ

ARCHIVES 沖縄県公文書館だより



創刊号



第2号



第3号



第4号



第5号



第6号



第7号



第8号



第9号



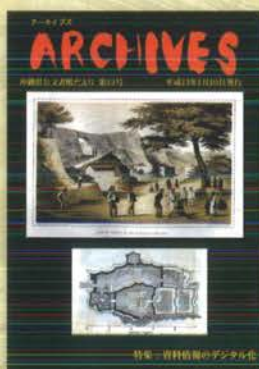
第10号



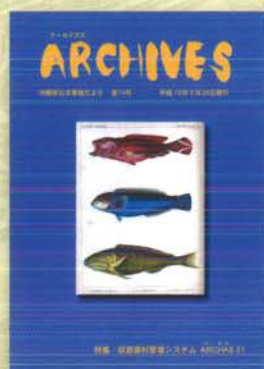
第11号



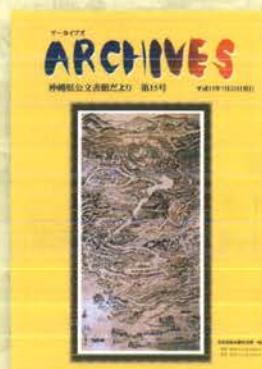
第12号



第13号



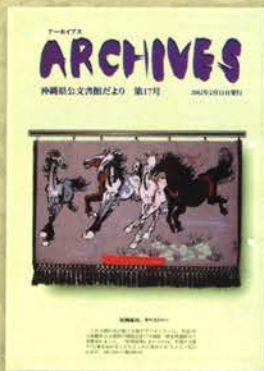
第14号



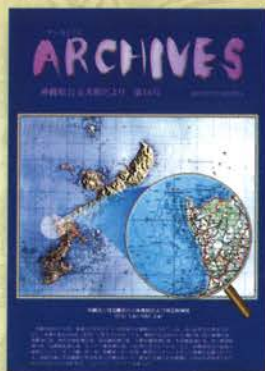
第15号



第16号



第17号



第18号



第19号



特別号



第20号



第21号



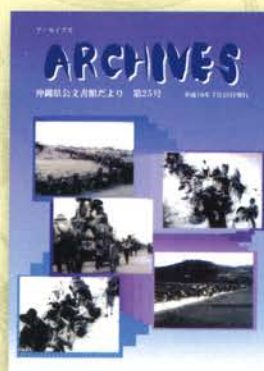
第22号



第23号



第24号



第25号



第26号



第27号



目録

図録

普及事業（展示会）

	展示会名	会期	入場者数	場所
1	開館記念特別展「清代中国・琉球関係档案史料展」	1995年(平成7)8月2日～8月30日	9,873	展示室
2	開館1周年記念特別展「琉球政府の時代」	1996年(平成8)8月1日～8月30日	4,783	展示室
3	特別展「沖縄へのまなざし 岸秋正文庫の世界」	前期：1997年(平成9)8月1日～24日 後期：1997年(平成9)8月30日～9月28日	1,485	展示室
4	アメリカが記録した戦後沖縄	1998年(平成10)8月1日(土)～9月30日	2,808	展示室
5	移動展「八重山の資料を中心に」	1998年(平成10)10月3日～9月30日	742	石垣市
6	移動展「記録された名護・やんばる」	1999年(平成11)3月20日(土)～4月18日	8,364	名護市
7	企画展「公文書館資料に見る海外移民の軌跡」	1999年(平成11)8月3日～9月19日	1,899	展示室
8	移動展「公文書館資料に見る海外移民の軌跡と宮古関係資料」	1999年(平成11)11月2日～11月28日	1,350	平良市
9	開館五周年記念特別展 「琉球国王表文奏本展 ー中国第 ー歴史档案館所蔵」	2000年(平成12)8月1日～11月5日	2,612	展示室
10	第4回移動展「沖縄県公文書館収蔵資料にみる久米島」	2000年(平成12)11月1日～12月3日	4,016	久米島
11	第4回企画展 「空中写真に見る戦前・戦後 ー基地にかわったふるさとー」	2000年(平成12)11月14日～2001年(平成13)1月31日	1,670	展示室
12	第5回企画展「沖縄県公文書館収蔵資料に見る久米島」	2001年(平成13)2月14日～3月31日	1,182	展示室
13	第1回普及展 「公文書から歴史資料へ～沖縄県公文書館の役割～」	2001年(平成13)7月16日～7月19日		県庁県民ホール
14	第6回企画展「写真に見る近代の沖縄」	2001年(平成13)10月19日～12月23日	4,073	展示室
15	第2回普及展 「公文書から歴史資料へ～沖縄県公文書館の役割～」	2001年(平成13)11月28日～12月7日		宮古支庁
16	第3回普及展 「公文書から歴史資料へ～沖縄県公文書館の役割～」	2001年(平成13)11月29日～12月7日		八重山支庁
17	第5回移動展「沖縄県公文書館収蔵資料に見る伊平屋」	2001年(平成13)12月1日～12月16日	600	伊平屋村
18	第6回移動展「写真に見る近代の沖縄」	2002年(平成14)2月22日～2月23日	142	東京都(法政大学)
19	日本復帰30周年記念特別展「資料に見る沖縄の歴史」	2002(平成14)5月1日～5月31日	4,195	展示室
20	日本復帰30周年記念特別展 宮古移動展 「資料に見る沖縄の歴史」	2002年(平成14)6月11日～6月23日	603	平良市
21	日本復帰30周年記念特別展 八重山移動展 「資料に見る沖縄の歴史」	2002年(平成14)7月2日～7月14日	1,116	石垣市
22	第4回普及展 「公文書から歴史資料へ～沖縄県公文書館の役割～」	2002年(平成14)7月29日～8月5日		北部合同庁舎
23	第7回企画展「1940年代の沖縄の空中写真(沖縄本島南部、中部、北部、宮古・八重山)」	2002年(平成14)9月18日～2003年(平成15)3月30日	6,546	展示室
24	第5回普及展「歴史の証としての公文書～県民共有の財産を後世へ引き継ぐために～」	2002年(平成14)12月2日～12月6日		県庁県民ホール
25	第8回企画展「公文書館収蔵資料に見る沖縄の乗りもの今昔」	2003年(平成15)8月8日～10月12日	2,869	展示室
26	第7回移動展「沖縄県公文書館収蔵資料に見る多良間」	2003年(平成15)9月4日～9月15日	538	多良間村
27	第9回企画展 「米国高官たちの沖縄へのまなざし 沖縄の戦後復興」	2004年(平成16)9月7日～10月31日	1,155	展示室
28	第8回移動展 「アーカイブズへの誘いー記録で迎える那覇の今・昔」	2004年(平成16)12月1日～12月6日	2,275	那覇市(パレットくもじ)

展示会ポスター

沖縄県公文書館 開館

平成17年8月10日

東アジアにおける中継貿易の拠点として栄えた琉球王国を、歴史文書から解きあかす。
「琉球王国、琉球を支えた歴史文書の真実の扉」

開館式特別講演

開館式特別講演 開館式特別講演
 開館式特別講演 開館式特別講演

沖縄県公文書館 開館一周年記念事業

展示会、講演会、講座、映像祭

琉球政府の時代

一戦期から三戦期までの琉球政府の中心人物の足跡をたどる

期間 1996年(平成8年)8月1日(木)～8月7日(水)

主催 沖縄県公文書館

岸秋正文庫の世界

沖繩へのまなび

岸秋文(1873-1948)の生涯と著作の世界を、その代表作『琉球の歴史』を中心に紹介する。岸秋文の著作は、琉球の歴史を詳しく記述しており、琉球の文化や社会の発展に大きく貢献した。本展では、岸秋文の著作の魅力を伝えるとともに、琉球の歴史や文化についても詳しく紹介する。

期間：平成12年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：久米島自然文化センター

沖縄県公文書館収集写真展

アメリカが記録した戦後沖縄

戦後沖縄の歴史を、アメリカ軍が撮影した貴重な写真から読み解く。写真は、戦後の沖縄の社会や文化、そして人々の生活の様子をリアルに捉えている。本展では、これらの貴重な写真を展示し、戦後沖縄の歴史を詳しく紹介する。

期間：平成11年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：名護市立中央図書館展示室

公文書館 移動展

八重山の資料を中心に 国使臣帯回該

八重山の資料を中心に、国使臣帯回該の歴史を詳しく紹介する。本展では、八重山の歴史や文化、そして国使臣帯回該の歴史についても詳しく紹介する。

期間：平成11年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：名護市立中央図書館展示室

沖縄県公文書館 移動展

記録された名護やんばる

名護やんばるの歴史を、記録された写真から読み解く。本展では、名護やんばるの歴史や文化、そして名護やんばるの歴史についても詳しく紹介する。

期間：平成11年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：名護市立中央図書館展示室

海外移民の軌跡を富古関係資料

沖縄県公文書館古宮移動展

平良市総合博物館10周年記念事業

海外移民の軌跡を、富古関係資料から読み解く。本展では、海外移民の歴史や文化、そして富古関係資料についても詳しく紹介する。

期間：平成11年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：平良市総合博物館(入場無料)

琉球国王表文奏本展

中国第一歴史档案馆所蔵

琉球国王表文奏本の歴史を詳しく紹介する。本展では、琉球国王表文奏本の歴史や文化、そして琉球国王表文奏本の歴史についても詳しく紹介する。

期間：平成11年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：名護市立中央図書館展示室

第4回沖縄県公文書館移動展

沖縄県公文書館収集資料にみる久米島

久米島の歴史を、収集された資料から読み解く。本展では、久米島の歴史や文化、そして久米島の歴史についても詳しく紹介する。

期間：平成12年11月1日(水)～11月30日(木)

場所：久米島自然文化センター

企画展
空中写真にみる戦前・戦後
 一基地にかわったふるさと一

1945年、戦時が沖縄上空を飛行した空軍写真。その中に戦前戦後から今日の沖縄を写しとったものが数多くあります。真白な島、緑豊かな山々、田舎の風景の心とつづらぬとちがひが写っています。… 戦前と戦後、美しい島をへて、ふるさとをどう変えていったのでしょうか?

期 間：2000年11月4日(火)～2005年4月31日(水)
 午前10時～午後4時(休館日は無休) 最終日：12月28日～1月3日

場 所：沖縄県公文書館 展示室

入場料：無料

沖縄県公文書館
 沖縄県読書センター140-2 電話098-836-1875
 開館時間：午前10時～午後4時(休館日は無休) 最終日：12月28日～1月3日
 休館日：12月28日～1月3日(休館期間中は休館) 休館期間中は休館

世界のウチナーンチュ大会記念企画展

写真にみる近代の沖縄
 Uchinan chu Photographs
 The Beginnings of Modernization

写真のウチナーンチュ大会
 1945年、戦時が沖縄上空を飛行した空軍写真。その中に戦前戦後から今日の沖縄を写しとったものが数多くあります。真白な島、緑豊かな山々、田舎の風景の心とつづらぬとちがひが写っています。… 戦前と戦後、美しい島をへて、ふるさとをどう変えていったのでしょうか?

期 間：2001年10月19日(金)～11月25日(日)

場 所：沖縄県公文書館 展示室
 1. 主 催：沖縄県公文書館 展示室
 協賛：沖縄県読書センター140-2 電話098-836-1875
 開館時間：午前10時～午後4時(休館日は無休) 最終日：12月28日～1月3日
 休館日：12月28日～1月3日(休館期間中は休館) 休館期間中は休館

沖縄県公文書館
 Okinawa Prefectural Archives

沖縄県公文書館伊平屋移転先

沖縄県公文書館
収蔵資料にみる“伊平屋”

2001年12月1日(土)～12月16日(日)

場 所：沖縄県公文書館
 伊平屋村 伊平屋村教育委員会
 伊平屋村歴史民俗資料館
 伊平屋村歴史民俗資料館
 TEL: 0980-38-2393 FAX: 0980-45-2384
 開館時間：午前9時～午後5時
 休館日：毎週月曜日

日本復帰30周年記念特別展
資料にみる沖縄の歴史
 2004年2月1日(水)～3月31日(金)

沖縄県公文書館

2003.9.4.18.~9.15.18. 多良間 多良間村中央公民館

平成14年度 沖縄県公文書館 企画展

1940年代の沖縄の空中写真

期 間 展示期間
 半島南部及び周辺離島 ▶ 平成14年9月18日(水)～10月27日(日)
 半島中部及び周辺離島 ▶ 平成14年11月7日(水)～12月16日(日)
 半島北部及び周辺離島 ▶ 平成15年1月6日(日)～2月9日(日)
 宮古・八重山 ▶ 平成15年2月20日(水)～3月30日(日)

場 所 / 沖縄県公文書館 展示室(入場無料)

沖繩の乗りもの今昔

2003.8.8.10.12. 沖縄県公文書館 展示室(入場無料)

沖縄県公文書館

沖縄県公文書館移転先

沖縄県公文書館収蔵資料にみる

多良間

2003.9.4.18.~9.15.18. 多良間 多良間村中央公民館

平成16年度企画展
米国高官たちの沖縄へのまなざし
 -沖縄の戦後復興-

開展期間 2004年9月7日(火)～10月31日(日)
 (休館日は無休) 最終日：12月28日～1月3日

場 所：沖縄県公文書館 展示室 **入場無料**

関連団体
 9月17日(金) 場所：沖縄県公文書館 講堂
 18:00～18:25 講演会(1)「USCARの描った戦後沖縄の復興」
 18:30～20:00 講演会(2)「米国統治下の見た沖縄」
 講師：比嘉朝郎(沖縄アメリカ協会会長)

お問い合わせ先：沖縄県公文書館 電話 098-860-3675 〒981-1191 高城町野原町141-2

平成16年度沖縄県公文書館移動展

アーカイブズへの誘い
記録で辿る那覇の今・昔

開展期間
2004年12月1日(水)～12月6日(月)
 時間：午前10時～午後6時(最終日の6日は午後6時まで)
場 所：那覇市バレットくもじ7階リウウホール

入場無料

普及事業（講演会）

	演 題	講 師	会 期	参加者
1	沖縄世と公文書館	鹿野政直(早稲田大学教授)	1995年(平成7)8月2日	160
2	中国・琉球档案関係資料について	徐藝圃(中国第一歴史档案館長)	1995年(平成7)8月2日	160
3	戦時中におけるラサ島	森田芳雄(元ラサ(沖大東)島守備隊長)	1996年(平成8)2月20日	66
4	琉球政府時代の或る背景	久場政彦(元沖縄群島政府財政部副部長・元琉球大学教授)	1996年(平成8)8月3日	66
5	沖縄と私	岸朝子(料理研究家)	1997年(平成9)1月17日	
6	沖縄と私 ～屋良先生の思い出～	末次一郎(末次事務所新樹会代表幹事)	1997年(平成9)4月3日	
7	第2回資料保存講演会「県内における資料保存の現状を考える」	青木睦、上江洲敏夫、A.P.ジェンキンス	1999年(平成11)3月1日	89
8	第4回市町村文書担当者研修会「琉球政府文書の収集と整理」	金城功(元沖縄県立図書館長)	2000年(平成12)2月10日	26
9	第3回資料保存講演会「洋紙資料の保存と修復」－酸性紙をどうするか－	金山正子(元興寺文化財研究所研究員)	2000年(平成12)2月18日	60
10	第9回公文書講演会「島津家久と琉球支配」	上原兼善(岡山大学教授)	2000年(平成12)3月21日	97
11	第15回 開館5周年記念特別講演会「情報の交流と文書の応用」	馮伯群(中国第一歴史档案館副館長)	2000年(平成12)8月1日	120
12	第16回 開館5周年記念特別講演会「石敢當」－現状の由来と考証－	児玉正任(財団法人沖縄協会会長)	2000年(平成12)8月1日	120
13	第17回 開館5周年記念特別講演「冊封使の派遣について－中国側の事情－	金城正篤(沖縄大学教授)	2000年(平成12)8月2日	100
14	第18回市町村文書担当者研修会	各市町村文書担当者	2001年(平成13)2月21日	29
15	第19回資料保存講演会「資料保存の新展開－国際化時代の展望－」	安江明夫(国立国会図書館逐次刊行物部長)	2001年(平成13)2月24日	39
16	第21回公文書講演会「米国における沖縄関係資料の収集と整理」	仲本和彦((財)沖縄県文化振興会公文書専門員)	2001年(平成13)11月5日	31
17	第22回歴史講演会「沖縄返還の舞台裏」	高橋実(元共同通信社那覇支局長)	2001年(平成13)11月16日	124
18	第23回資料保存講演会「中近世文書の装幀と料紙及び修復・保存」	細井歌寿男(宮内庁書陵部図書課修補係修補師)	2002年(平成14)1月18日	64
19	第24回日本復帰30周年記念講演会「近現代における沖縄と日本」	我部政男(山梨学院大学大学院教授)	2002年(平成14)5月1日	137
20	第25回日本復帰30周年記念講演会「21世紀の東アジアと沖縄」	天児慧(早稲田大学教授)	2002年(平成14)5月3日	142
21	第26回日本復帰30周年記念講演会「東アジアの中の琉球王国」	田名真之(那覇市歴史資料室長)	2002年(平成14)5月11日	151
22	第27回公文書講演会「証としての記録～知の遺産を行かすために～」	大濱徹也(独立行政法人国立公文書館理事)	2002年(平成14)12月6日	183
23	第28回資料保存講演会「写真の保存について」	荒井宏子(東京都写真美術館保存科学専門員)	2003年(平成15)1月24日	167
24	歴史講演会「ペリー提督と琉球王国」	照屋善彦(琉球大学名誉教授)	2003年(平成15)7月11日	151
25	歴史講演会「沖縄の鉄道」	ゆたかはじめ(エッセイスト)	2003年(平成15)10月1日	50
26	資料保存講演会「今後の記録資料の虫菌類対策について」	木川りか(独立行政法人文化財研究所保存科学部主任研究官)	2004年(平成16)1月22日	75
27	歴史講演会「米国統治者の見た沖縄」	比嘉幹郎(沖縄・アメリカ協会会長)	2004年(平成16)9月7日	125
28	歴史講演会「琉球・沖縄の対外関係の歴史」	金城正篤(沖縄大学教授)	2004年(平成16)10月15日	52

普及事業（講座）

	講座名	講師名	会期	入場者数
1	中国・琉球関係档案史料の解説	黄亜非(中国第一歴史档案馆技術部副主任・副研究員)	1995年(平成7)8月2日、3日	100
2	人文学・社会科学の分野における沖縄及び日本、東アジアに関する西洋の文献紹介	フランク・ジョセフ・シュールマン(書誌編集者・アジア学参考図書編集者、コンサルタント(メリーランド州立大学図書館勤務))	1995年(平成7)8月3日	78
3	米国国立公文書館の概要と保存資料	レベッカ・コーリア(米国国立公文書館職員)	1995年(平成7)8月3日	78
4	沖縄の戦後史を語る① -「総論」-	宮城悦二郎(沖縄県公文書館長・県立芸術大学教授)	1996年(平成8)1月25日	78
5	沖縄の戦後史を語る② -「終戦直後の生活」-	船越義彰(那覇市文化協会顧問)	1996年(平成8)2月1日	70
6	沖縄の戦後史を語る③ -「戦後史と沖縄経済」-	牧野浩隆(琉球銀行常任鑑査役)	1996年(平成8)2月8日	76
7	沖縄の戦後史を語る④ -「戦後史と民衆運動」-	新崎盛輝(沖縄大学法経学部教授)	1996年(平成8)2月15日	75
8	沖縄の戦後史を語る⑤ -「戦後沖縄の文化」-	宮城悦二郎(沖縄県公文書館長・県立芸術大学教授)	1996年(平成8)2月22日	73
9	沖縄の戦後史を語る⑥ -「米国の沖縄統治」-	我部政明(琉球大学法文学部教授)	1996年(平成8)2月29日	83
10	沖縄の戦後史を語る⑦ -「戦後沖縄のマスメディア」-	保坂廣志(琉球大学教授)	1996年(平成8)3月7日	60
11	沖縄の戦後史を語る⑧ -「労働運動史」-	山根安昇(琉球新報社取締役総務局長)	1996年(平成8)3月14日	44
12	沖縄の戦後史を語る⑨ -「戦後沖縄の女たち」-	上江洲トシ(民主教育をすすめる会副議長)	1996年(平成8)3月21日	55
13	沖縄の戦後史を語る⑩ -「戦後沖縄の教育運動」-	福地曠昭(沖縄県精神保険協会会長)	1996年(平成8)3月28日	55
14	開館1周年記念特別講座①「琉球政府の時代」	儀間文彰(元琉球政府厚生局長)	1996年(平成8)8月5日	50
15	開館1周年記念特別講座②「琉球政府の時代」	兼次佐一(元那覇市長)	1996年(平成8)8月6日	70
16	開館1周年記念特別講座③「琉球政府の時代」	中村文子(元沖縄県婦人連合会副会長)	1996年(平成8)8月7日	45
17	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～①「沖縄の先史時代」	安里嗣淳(沖縄県文化振興会史料編集室主幹)	1996年(平成8)12月5日	97
18	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～②「近世琉球の歴史と民衆」	仲地哲夫(沖縄国際大学教授)	1996年(平成8)12月12日	98
19	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～③「幕末の琉球をめぐる国際環境」	仲地哲夫(沖縄国際大学教授)	1996年(平成8)12月19日	82
20	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～④「大交易の時代」	田名真之(那覇市文化局歴史資料室主幹)	1997年(平成9)1月16日	86
21	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑤「琉球の冠船貿易について」	豊見山和行(琉球大学助教授)	1997年(平成9)1月23日	79
22	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑥「近世琉球の漢学」	上里賢一(琉球大学教授)	1997年(平成9)1月30日	77
23	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑦「19世紀前半における琉球の西洋文化との遭遇」	照屋善彦(琉球大学教授)	1997年(平成9)2月6日	84
24	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑧「謝花昇と土地整理事業」	田里修(沖縄大学教授)	1997年(平成9)2月24日	82

普及事業（講座）

	講座名	講師名	会期	入場者数
25	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑨ 「太田朝敷論」	比屋根照夫(琉球大学教授)	1997年(平成9) 2月20日	65
26	沖縄の歴史 ～先史から近代へ～⑩ 「伊波普猷と月城」	比屋根照夫(琉球大学教授)	1997年(平成9) 2月27日	81
27	文書管理と情報公開	廣田傳一郎(シオン短期大学教授)	1997年(平成9) 3月25日	52
28	戦後沖縄文化の諸相① 「住まいに活かす先人の教え～風水～」	照屋寛公(建築アトリエトレッペン代表)	1998年(平成10) 1月22日	121
29	戦後沖縄文化の諸相② 「戦後沖縄の音楽～民謡・ロックを中心に～」	備瀬善勝(キャンパスレコード店主)	1998年(平成10) 1月29日	54
30	戦後沖縄文化の諸相③ 「沖縄の伝統染織と現代ファッション」	仲井間文子(三越デザイナー)	1998年(平成10) 2月5日	86
31	戦後沖縄文化の諸相④ 「戦後沖縄の演劇」	幸喜良秀(沖縄県商工労働部長)	1998年(平成10) 2月12日	38
32	戦後沖縄文化の諸相⑤ 「沖縄芝居～よもやま話～」	真喜志康忠(劇団ときわ座主宰)	1998年(平成10) 2月19日	91
33	戦後沖縄文化の諸相⑥ 「沖縄の食文化～王朝料理再現の話～」	金城須美子(琉球大学教授)	1998年(平成10) 2月26日	58
34	戦後沖縄文化の諸相⑦ 「戦後沖縄のスポーツ(1)高校野球」	裁弘義(沖縄水産高校野球部監督)	1998年(平成10) 3月5日	59
35	戦後沖縄文化の諸相⑧ 「戦後沖縄のスポーツ(2)ボクシング」	金城真吉(那覇市消防本部指令補)	1998年(平成10) 3月12日	22
36	第36回公文書館講座 ～にみるシリーズ～ 「未公開資料と写真にみる沖縄戦」	ビジュアル講座 吉浜忍((財)沖縄県文化振興会史料編集室主幹)	1999年(平成11) 3月4日	75
37	第37回公文書館講座 ～にみるシリーズ～ 「写真記録にみるアメリカの住民観」	ビジュアル講座 富永一也((財)沖縄県文化振興会公文書管理部主任専門員)	1999年(平成11) 3月11日	65
38	第38回公文書館講座 ～にみるシリーズ「校舎の移り変わりに見る戦後教育」	ビジュアル講座 中村高一((財)沖縄県文化振興会史料編集室主任専門員)	1999年(平成11) 3月18日	55
39	第39回公文書館講座 ～にみるシリーズ「基地建設にみる沖縄の戦後」	ビジュアル講座 宮城悦二郎(沖縄県公文書館長・県立芸術大学教授)	1999年(平成11) 3月25日	50
40	第40回公文書館講座 「沖縄県と海外移民百年」	石川友紀(琉球大学教授)	1999年(平成11) 8月4日	42
41	第41回公文書館講座 「海外ウチナーンチュ社会の現状」	前原信一(沖縄テレビ報道局次長兼キャスター室長)	1999年(平成11) 8月11日	52
42	第42回公文書館講座 「南洋移民の点景・点描」	赤嶺秀光(株式会社社工人代表取締役社長)	1999年(平成11) 8月17日	42
43	第43回公文書館講座 ～島々の文化を訪ねて～(八重山編)	波照間永吉(沖縄県立芸術大学教授)	2000年(平成12) 1月19日	130
44	第44回公文書館講座 ～島々の文化を訪ねて～(宮古編)	仲宗根将二(宮古郷土史研究会会長)	2000年(平成12) 1月26日	120
45	第45回公文書館講座 ～島々の文化を訪ねて～(久米島編)	上江洲均(名桜大学教授)	2000年(平成12) 2月2日	108
46	第46回開館五周年記念特別講座 「清代の表文奏本と朝貢制度」	王道端(中国第一歴史档案館研究館員)	2000年(平成12) 8月3日	90
47	第47回公文書館講座 「王府の儒教化政策」	糸数兼治(元沖縄県立博物館長)	2001年(平成13) 2月28日	51
48	第48回公文書館講座 「琉球と中国」	孫薇(法政大学沖縄文化研究所国内研究員)	2001年(平成13) 3月7日	94
49	第49回公文書館講座 「清代の琉球国王印について～失われた国王印の行方～」	上江洲安亨(首里城公園管理センター主事)	2001年(平成13) 3月14日	97
50	第50回公文書館講座 「琉球と近代日本～琉中関係への介入～」	梅木哲人(志学館大学教授)	2001年(平成13) 3月21日	87

普及事業（講座）

	講座名	講師名	会期	入場者数
51	第51回歴史講座 「写真に見る近代の沖縄」	野々村孝男(歴史研究家)	2001年(平成13) 11月2日	90
52	第52回歴史講座 「歴史から見た東アジアと沖縄－近世における琉球と中国」	名嘉正八郎(新沖縄県史編集委員会委員)	2002年(平成14) 1月25日	88
53	第53回歴史講座 「歴史から見た東アジアと沖縄－西欧文献に見る東アジアと沖縄」	山口栄鉄(沖縄県立看護大学教授)	2002年(平成14) 2月8日	104
54	第54回歴史講座 「歴史から見た東アジアと沖縄－朝鮮王国と琉球沖縄」	津波高志(琉球大学教授)	2002年(平成14) 2月8日	115
55	第55回歴史講座 「歴史から見た東アジアと沖縄－東アジアと沖縄」	高良倉吉(琉球大学教授)	2002年(平成14) 2月15日	148
56	第56回歴史講座 「歴史から見た東アジアと沖縄－琉球王国と中国」	井上秀雄(沖縄県立芸術大学教授)	2002年(平成14) 2月22日	104
57	第57回歴史講座 沖縄関係公文書・私文書を中心に ～アメリカ研究者として～	ロバート・エルドリッチ(人阪人学助教授)	2003年(平成15) 1月15日	58
58	第58回歴史講座 沖縄戦後史と米国政府公文書	仲本和彦(財団法人沖縄県文化振興会公文書専門員)	2003年(平成15) 1月22日	74
59	第59回歴史講座 沖縄関係公文書資料の探し方・読み方	我部政明(琉球大学教授)	2003年(平成15) 1月29日	59
60	第60回歴史講座 公文書館で収集した資料の全体像と個々の文書	我部政明(琉球大学教授)	2003年(平成15) 2月5日	48
61	第61回歴史講座 1945～50年の沖縄における軍政Ⅰ	宮里政玄(琉球大学名誉教授)	2003年(平成15) 2月12日	45
62	第62回歴史講座 1945～50年の沖縄における軍政Ⅱ	宮里政玄(琉球大学名誉教授)	2003年(平成15) 2月19日	38
63	第63回歴史講座 戦前の県政 沖縄の県令・県知事たち1 ー初代県令鍋島直杉とその時代ー	金城正篤(沖縄大学教授)	2003年(平成15) 8月2日	112
64	第64回歴史講座 戦前の県政 沖縄の県令・県知事たち2 ー第2代県令上杉茂憲とその時代ー	秋山勝(沖縄大学非常勤講師)	2003年(平成15) 8月9日	94
65	第65回歴史講座 戦前の県政 沖縄の県令・県知事たち3 ー第8代県知事奈良原繁とその時代ー	田里修(沖縄大学教授)	2003年(平成15) 8月16日	102
66	第66回歴史講座 戦前の県政 沖縄の県令・県知事たち4 ー第25代県知事早川元 第26代県知事泉守紀とその時代ー	野里洋(琉球新報社常務取締役)	2004年(平成16) 2月28日	66
67	第67～69回歴史講座 沖縄の歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (児童対象)	久部良和子(財団法人沖縄県文化振興会公文書専門員)	2004年(平成16) 8月4日,11日,18日	69
68	第70～72回歴史講座 島津家文書に見る琉球王国の実像	豊見山和行(琉球大学教授)	2004年(平成16) 11月18日,25日, 12月2日	306

普及事業（映写会）

	映写会名	会期	参加者数
1	映像は語る その1 「明日を導く人々」	1996年(平成8)8月2日	98
2	映像は語る その2 「石川宮森小学校ジェット機墜落事故映像」	1996年(平成8)8月4日	130
3	映像は語る その3 「琉球」、「体育行脚の巻」、「沖縄列島」	1996年(平成8)8月5日	42
4	映像は語る その4 「RED HAT OPERATION」(毒ガス輸送作戦記録映画)	1996年(平成8)8月6日	36
5	映像は語る その5 「執念の毒蛇」、「海を越えてこの感激を—ブラジルで祝った沖縄の祖国復帰」	1996年(平成8)8月7日	44
6	復帰25周年記念 映像資料で見る復帰前の沖縄 —復帰前に制作された映像資料の上映会—①RKBニュース、復帰への選択、海を越えてこの感激を	1997年(平成9)5月15日	
7	復帰25周年記念 映像資料で見る復帰前の沖縄 —復帰前に制作された映像資料の上映会—②沖縄列島、沖縄の風物	1997年(平成9)7月25日	
8	復帰25周年記念 映像資料で見る復帰前の沖縄 —復帰前に制作された映像資料の上映会—③RKBニュース、切手のふるさと1、孤の果ての島・八重山群島	1997年(平成9)8月22日	
9	復帰25周年記念 映像資料で見る復帰前の沖縄 —復帰前に制作された映像資料の上映会—④RKBニュース、切手のふるさと2、奄美大島	1997年(平成9)9月26日	
10	第12回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 朝日映画ニュース「時の話題・那覇市長に瀬長氏就任」他18ニュース	1998年(平成10)8月28日	60
11	第13回映写会 映像資料で見る沖縄の現代史 河村只雄南方文化の探求関係8ミリ映画「戦前の沖縄の風物」	1998年(平成10)9月25日	55
12	第14回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 早稲田大学沖縄八重山調査団同行記録映画「沖縄」	1998年(平成10)10月23日	55
13	第15回映写会 フィルムフォーラム「沖縄関係映像資料の現状と課題」	1999年(平成11)3月13日	130
14	第16回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 沖縄国際海洋博覧会記録映画「海その望ましい未来、海の祭典」	1999年(平成11)7月16日	49
15	第17回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 「起ち上がる琉球」	1999年(平成11)8月20日	36
16	第18回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 「沖縄からの手紙 豊かな太陽」	1999年(平成11)9月17日	48
17	第19回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 「沖縄の生産業 鉄鋼業『拓南製鉄株式会社』 沖縄の鐵」	1999年(平成11)10月15日	120
18	第20回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 「沖縄の祭り、塩屋のウンガミ」	1999年(平成11)11月19日	60
19	第21回映写会 映像資料で見る沖縄現代史 「琉球の風物、琉球の民芸体育行脚『沖縄の巻』『八重山群島の巻』」	1999年(平成11)12月17日	69
20	第22回映写会 「読売国際映画ニュース 他」	2001年(平成13)1月22日	32
21	第23回映写会 「琉球ニュース 他」	2001年(平成13)2月15日	50
22	第24回映写会 「琉球ニュース 他」	2001年(平成13)3月15日	26
23	第25回映写会 「吉屋チルー物語」	2002年(平成14)3月1日	37
24	第26回映写会 「琉球ニュース・明日を導く人々」	2002年(平成14)3月8日	18

普及事業（映写会）

	映写会名	会期	参加者数
25	第27回映写会 「起ちあがる琉球・船出」	2002年(平成14)3月15日	18
26	第28回映写会 「朝日ニュース・沖縄列島」	2002年(平成14)3月22日	25
27	第29回映写会 「基地沖縄の素顔・読売国際ニュース」	2002年(平成14)3月28日	22
28	第30回映写会 「万国津梁の国、世替わりの国」	2002年(平成14)10月2日	16
29	第31回映写会 「ニライ・カナの城大冒険、5年1組の護佐丸と阿麻和利」	2002年(平成14)10月5日	12
30	第32回映写会 「米軍撮影沖縄戦関連映像Ⅰ(無声)」	2002年(平成14)10月9日	29
31	第33回映写会 「米軍撮影沖縄戦関連映像Ⅱ(無声)」	2002年(平成14)10月16日	40
32	第34回映写会 「USCAR作成沖縄ニュースハイライト」	2002年(平成14)10月23日	25
33	第35回映写会 「沖縄の心を求めて～復帰前の沖縄の姿～、南の島を汽車が行く～南大東島の鉄道～」	2002年(平成14)10月30日	26
34	第36回映写会 「南の島を汽車が行く」、「沖縄の鉄道物語」	2003年(平成15)10月1日	44
35	第37回映写会 「USCARの撮った戦後沖縄の復興」	2004年(平成16)6月22日	603
36	第38回映写会 「万国津梁の国」	2004年(平成16)10月15日	51



第13回 映写会「戦前の沖縄の風物」



真栄平房敬氏



第14回 映写会 高元政秀氏



第13回 映写会南米移民について説明する
島袋伸三氏

普及事業（資料保存講習会）

	講習会名	講師	会期	参加者
1	沖縄県公文書館講習会「簡易製本と保存容器の作成について」	大竹茂(国立国会図書館収集部資料保存課洋装第一製本係司書)	1996年(平成8年)1月24日	53
2	開館一周年記念事業「保存箱教室」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	1996年(平成8年)8月4日(2回)	30
3	第2回「保存箱教室」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	1997年(平成9年)8月10日、24日	26
4	第3回資料保存講習会「和本の製本と保存箱」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	1998年(平成10年)8月8日、9日	37
5	第4回資料保存講習会「無線綴じ本の簡易製本」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	1999年(平成11年)6月19日	36
6	第5回資料保存講習会「貴重資料を保存容器でまもる」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	2001年(平成13年)1月20日	40
7	第6回資料保存講習会「和装製本と保存箱作成」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	2001年(平成13年)8月10日	48
8	第7回資料保存講習会「紙資料のクリーニングと簡易製本」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	2002年(平成14年)8月16日、10月4日	71
9	第8回資料保存講習会「保存箱とエンキャプスレーション」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	2003年(平成15年)8月14日	24
10	第9回資料保存講習会「無線綴じ本の簡易製本」	大湾ゆかり((財)沖縄県文化振興会公文書管理部修復士)	2004年(平成16年)8月12日	44



「保存箱教室」



第6回「和装製本と保存箱作成」



第7回「紙資料のクリーニングと簡易製本」



第8回「保存箱とエンキャプスレーション」

普及事業（研修会）

	研修会名	内容	会期	参加者
1	第1回 市町村文書担当者研修会	宮城悦二郎(沖縄県公文書館館長)「沖縄県公文書館の持つ意味と未来への展望」 宮城保(沖縄県公文書館資料課長)「沖縄県公文書館一開館までと現在の状況」 富永一也(沖縄県公文書館公文書専門員)「公文書館業務の概要と課題」	1996年(平成8)3月12日	16
2	第2回 市町村文書担当者研修会	講演 児玉正任(元沖縄開発庁事務次官、元国立公文書館長、沖縄協会会長)「公文書保存の重要性」 宮城保(沖縄県公文書館資料課長)「沖縄関係資料の現状と課題」	1996年(平成8)12月10日	16
3	第3回 市町村文書担当者研修会	講演 小川千代子(国際資料研究所代表)「情報公開と文書管理 公文書の役割」	1999年(平成11)2月19日	37
4	第4回 市町村文書担当者研修会	講演 金城功(沖縄大学教授)「琉球政府文書の収集と整理」	2000年(平成12)2月10日	26
5	第5回 市町村文書担当者研修会	金城善(糸満市総務課課長補佐)「糸満市における保存文書の管理について」 比嘉敏昭(大里村総務係長)「文書廃棄処分する前に」	2001年(平成13)2月21日	29
6	第6回 市町村文書担当者研修会	各市町村の事例発表	2001年(平成13)11月5日	31



第1回 研修会



第2回 研修会



第3回 研修会
小川千代子氏（国際資料研究所代表）



第6回 研修会



公文書館から南城市方面を望む

これからの公文書館に向けて

沖縄県公文書館は、平成7年（1995）に開館し、10周年を迎えました。これを機会に当館の軌跡を年度毎に振り返り、これからの公文書館のあり方を展望してみようと思います。

戦後米軍統治下におかれた沖縄の行政文書である「琉球政府文書」の存在を知るものにとって、公文書館はなくてはならない施設です。公文書館の使命は、歴史的に重要な文書を調査、収集、整理、保存し、県民の利用に供することにあります。開館以来、当館は展示会・講演会・講座・資料保存講習会等県民への普及活動に邁進してまいりました。

これからは、県民へ一層のサービスに努めるとともに収蔵する資料の保存と利用を充実させるため、琉球政府文書の公開判定をはじめ沖縄県文書、米国収集資料の整理を充実させていきたいと思っています。

未来の道しるべとしての公文書等の記録資料が県民共有の財産として後世に受け継がれて利用されるよう精進しますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

沖縄県公文書館
館長 長田 勉



公文書館から与那原町方面を望む

利 用 案 内

■開館時間

・09:00～17:00（閲覧請求は16:30まで）

■休館日

- ① 月曜日
- ② 国民の祝日（昭和23年法律第178号）に規定する休日（月曜日と重なる場合は火曜日）
- ③ 12月28日～翌年1月4日（年末年始）
- ④ 6月23日（慰霊の日）
- ⑤ 特別整理期間（年間20日以内で館長の定める日）

■施設案内

- ・閲覧展示棟1階 展示室
公文書等を展示して企画展、常設展を実施しています。
- ・閲覧展示棟1階 講堂
講演会、講座、映写会等を実施する際にご利用いただけます。
- ・閲覧展示棟2階 閲覧室
資料の閲覧ができる他、ミニシアター（団体用）、ビデオブース（個人用）で映像資料を利用することもできます。

■閲覧室の利用方法

- ・初めて利用される方は「利用証」の交付をうけてください。その際は身分証明書の提示をお願いします。
- ・利用証をお持ちの方は、閲覧申請をして、閲覧室にて閲覧ができます。
- ・参考資料室の資料は自由に閲覧できます。
- ・閲覧室への所持品等の持ち込みは、制限がありますのでロッカーをご利用ください。
- ・資料の館外貸出は行っていません。
- ・資料の複写ができます。（複写は実費をいただきます。）
- ・担当職員が資料に関する問い合わせ・相談に応じます。

■交通のご案内

- ・那覇バス（株）市内線1番
- ・東陽バス（株）91番
（県立医療センター停留所下車）

